

平成 30 年度第 3 回
関東学生ホッケー連盟役員会
議事録

期日：2018 年 7 月 18 日（水）

時間：18 時 30 分～21 時 10 分

会場：品川区総合体育館

出席者：一川邦彦、河原茂光（以上副会長）、久我晃広（理事長）、萬納宏俊（副理事長）、宮澤哲郎（事務局）、関谷淳一（監事）、成田健一、栗原崇、近藤 聡史（以上常任理事）、竹内佑太（学連委員長）、矢作直也、樋脇彩夏（以上学連副委員長）、出口晴（競技委員長）、那須亮太（広報委員長）、祖山彩夏（財務委員長）、森川治門（審判委員長）、吉川菜緒（書記）、今村光成（学連委員）、林直樹、坂梨匡（以上副学連委員）

古屋会長が欠席のため、一川副会長が代行して開催を宣言。

【審議事項】

1. インカレ（平成 30 年度男子 67 回・女子 40 回全日本学生ホッケー選手権大会実施について）

- ・実施要項案についての内容確認を行った。
- ・第二会場については、グラウンド状態を考慮し早稲田大学東伏見グラウンドとし、第三会場を慶應義塾大学日吉グラウンドとすることを決定した。
- ・男子表彰物について、日本ホッケー協会杯の有無について確認が必要であり、関西学連、JHA に照会することとした。
- ・出店については、慶應義塾大学日吉グラウンドは出店不可。早稲田大学東伏見グラウンドについては出店は可能だが、2 か月前には早大競技スポーツセンターへの申請が必要となるため、広告出稿依頼の際に出店希望を確認する事とした（本件は広報が担当する）。

駒沢については、グラウンド内であれば出店は可能。メイン会場であることも考慮し、相応の賑わいも必要であり、出店いただく方向で考える。本件は、広報より広告出稿依頼の際に出店希望を確認する事とした

- ・バスで来場するチームが予想されるが、慶應義塾大学日吉グラウンドおよび早稲田大学東伏見グラウンドは駐車場確保できず、バスでの来場を遠慮いただくよう予め告知することを確認した。駒沢はバス利用可能であり、予め駐車場を確保しておくことが確認された

- ・インカレ期間中の各グラウンドでの動態表案の呈示有。各グラウンドとも、主管する大学（駒沢は一橋、早稲田、慶應）だけでは必要人数確保できないため、他大学から相応の人員確保する必要が確認された。また慶應の会場責任者は林直樹さんが対応し、竹内委員長は全体を統括するようとの指示があった。

- ・宿泊弁当手配については、宿泊は立教男子（森川さん）弁当は立教女子が対応することが確認された。宿泊施設については京王観光を通して、池尻大橋（駒沢、日吉）、久米川（東伏見）を確保している旨の説明があった。

- ・広報委員会より現在までの準備状況について報告があった。

入場料については、4日目（11/3）および5日目（11/4）の駒沢開催の際は有料化することを確認した。高校生以下は無料とし、大学生 500 円、社会人 1000 円とし、二日間通しの場合の料金設定も確認した。有料化による増収分は駒沢でのイベント費用等（当初の予算で見込んでいない）に充当するため、予算の見直しは行わないこととした。

4日目（11/3）および5日目（11/4）については、各種イベントの実施、放送の充実、会場での物品販売（含む飲食）など、有料化に見合った内容とすべく準備している旨が報告された。

- ・2018 年度インカレ工程表に基づき、準備項目の進捗確認を行った。

協賛広告リストの整備を行い、趣意書（広告協賛依頼）の作成、また同リストを社会人役員に展開し、早期に予算確保するよう指示があった。

この部分は、昨年の王座準備の段階でも対応が遅れ、ギリギリの対応となっており、同じ事態にならないよう最優先で対応することが確認された。広告が固まらなると予算への影響、パンフレットの作成工程に多大な影響が出るため。那須広報委員長の負担が大きいため、サポートの強化、または人員の増加を図るべきではないかとの意見があった。

他、各団体への後援依頼（後援依頼文書は広報が作成。読売新聞社は JHA を通して依頼、一川副会長が対応する）、補助金申請（JHA および日学連、宮澤事務局長が対応する）、ジャッジ等の手配依頼（出口競技委員長が西澤社会人理事に確認し対応する）などを確認した。

2. 平成 30 年度秋季関東学生ホッケーリーグ実施要項について

- ・竹内学連委員長より平成 30 年度秋季関東学生ホッケーリーグ実施要項について説明があり、秋季リーグの新規参加チーム等について審議を行った。
- ・日本体育大学の正式参加について協議を行った。一川副会長が既に同大学部長等から今後の活動についてヒアリング等を行っている事情も考慮し、各種登録手続きを適正に行うことを前提条件とし、秋季リーグからの参加を承認した。
- ・春リーグ途中で休部した東洋英和女学院大学より、（人数不足のため）専修大学女子との合同でオープン参加したいとの要請については、出場選手については必ず JHA に個人登録を行うことを条件として進めることが確認された。
- ・群馬大学については、秋季リーグは人数不足により不参加の旨が報告された。
- ・なお、秋季リーグ競技運営規定、競技日程案については、別途、競技委員会にて協議を行い次回役員会（8/22 予定）で承認を受ける予定である旨が確認された。

【報告/連絡事項】

3. 財務委員会活動報告

- ・祖山財務委員長より、平成 30 年度予算執行状況について報告があった。
- ・東西交流戦の関東学連交通費が予算をはるかに上回っていることについて、関西主催であったため監督・コーチ・主務分の交通費を予算に組み込むことを忘れていたとの説明があった。

・萬納副理事長より駒沢グラウンド使用料が未だ納入されていないとの説明があり、至急確認すると伝えられた。

4. コンプライアンスセミナーについて

・矢作副学連委員長より、コンプライアンスセミナーについて報告があった。

5. 東西交流戦について

・男子活動報告について矢作副学連委員長、女子活動報告について樋脇副学連委員長より報告があった。

・男女ともにユニフォームが足りていなかったため、来年の予算に組み込むことが提案された。

・久我理事長より、「プレーオフ出場権のある学校は東西交流戦東日本チームのメンバー規定には入れない」旨を明記した方がいいとの指摘があり、来年以降はプレーオフ出場権のある学校はメンバーから外す方向を確認した。

6. 表彰委員会活動報告

・樋脇副学連委員長より、表彰委員会活動報告があった。

7. 審判委員会活動報告

・森川審判委員長より、審判委員会活動報告があった。

・成田常任理事より、ボールサーバー業務を怠った件の再発防止案として、(大学の共有メールアドレスに連絡するだけでなく) 該当する大学の学連担当の個人宛てに連絡すべき、また対戦カードが未定であっても事前にボールサーバー担当を決めておくべきとの指摘があった。

8. 広報委員会活動報告

・那須広報委員長より、広報委員会活動報告があった。

以上

(押印略)

関東学生ホッケー連盟副会長

一川 邦彦

関東学生ホッケー連盟理事長

久我 晃広

関東学生ホッケー連盟学連委員長

竹内 佑太